

1 本時の実践について

(1) 本時の目標

太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かすことができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

(2) ICT活用場面について

【使用するアプリ】

・「カメラ機能」・ミライシード「オクリンク」

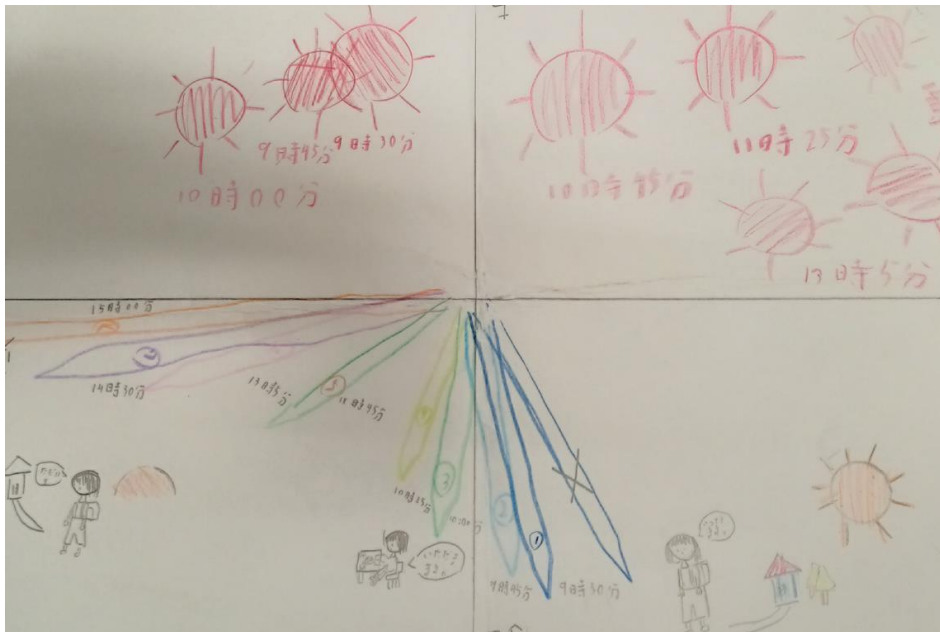


前の結果で、「太陽は、西から南を通過して、東に動く。」ことを学んだけど、太陽とかげの動きを見たら、時計回りに動いているよ。

【問題】時計回りで動く太陽とかげは、時計のはたらきをしているのだろうか。

実験

①自分たちで記録した太陽の動きを日時計で確認する。



本校に寄贈されている日時計

時計のようになってきているから、普段の生活の様子を描いてみようかな。



自分たちが記録した場所と同じようにかげができていますよ。



②日時計で確かめたのち、生活の様子を書き加える。

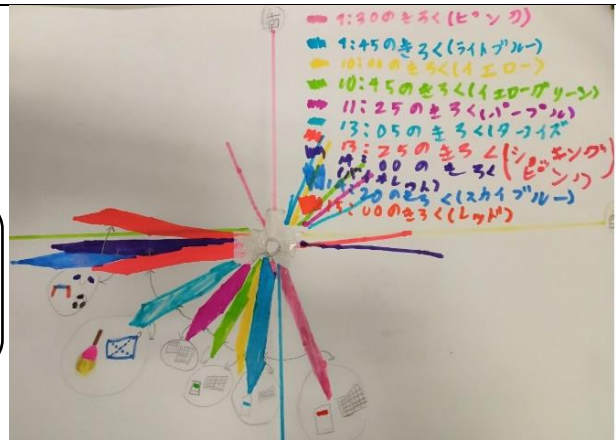


考察

- ③一人ひとりが書いた日時計を写真に撮り、ミラ
イシードの「オクリンク機能」で送る。
- ④一人ひとりの日時計を比較して、考察をする。



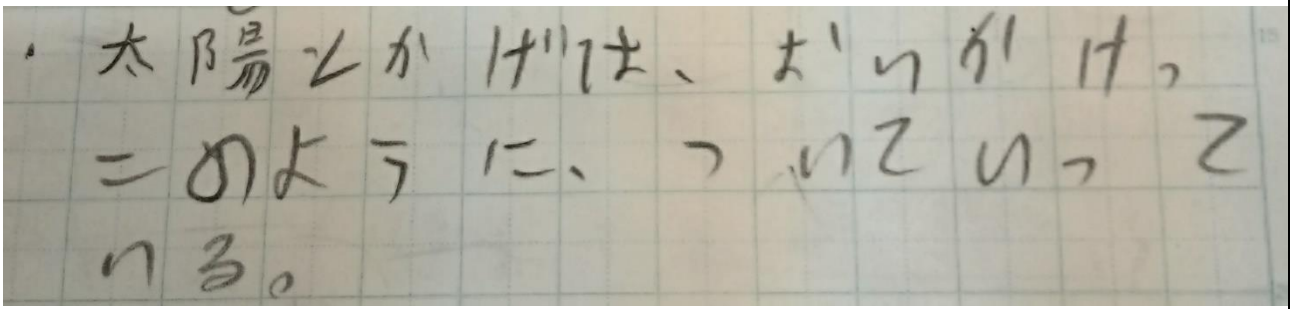
太陽とかげは時計回りに動いていると A さんは言いました。皆さんが送ったものを見比べて、気付いたことはありますか。



どの用紙のかげも日時計で確認すると、記録した時刻と一緒でした。

【考察】時計回りで動く太陽とかげは、時計のはたらきをしていた。そのことを日時計という。

児童Cによる学習感想：



(3) 成果○と課題●

- 太陽と影の向きの位置について学んだことを生活に生かすために、学校に寄贈された日時計を活用することができた。
- 学校によっては、日時計がない学校もあるため、動画や近隣の大きな公園を紹介したり調べたりするなど、タブレット端末の活用が考えられると感じた。

(さいたま市立浦和大里小学校 高野智大)